

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学附属図書館ラウンジトーク概要（平成27年度第3期）のお知らせ

弘前大学の教職員、学生等を講師とし、附属図書館を利用する学生、教職員、一般市民を対象に弘前大学や青森のことをもっと知ってもらおう、教員の研究を知ってもらおうと今年度から企画したイベントであり、昨年10月、改修工事に伴い整備したラーニング・commonsの活性化のために開催するものである。

- 日 時 毎週水曜日 12:05～12:35 ※第3期より時間変更
 - 場 所 附属図書館2階アクティブ・ラーニング・エリア
 - 講 師 弘前大学教職員、大学院生・学生 他
 - 対象者 附属図書館利用者（一般市民も含む）
 - テーマ
 - ・弘前大学を知る
 - ・青森を知る
 - ・世界を知る
 - ・研究・仕事の楽しさを知る
- ※この他、講師にテーマを設定していただく場合もある。

◆スケジュール（平成27年度第3期 10～11月）

第15回 10月14日(水)
弘前大学COI拠点『寿命革命』で健康長寿社会の実現へ
COI研究推進機構 教授 村下 公一

第16回 10月21日(水)
医学研究科・附属病院と研究～泌尿器外科の魅力～
医学研究科泌尿器科学講座 教授 大山 力

第17回 10月28日(水)
農学生命科学部を知る
農学生命科学部長 佐々木 長市

第18回 11月 4日(水)
最近の学生就職の現状はどうなっているのか？
学生就職支援センター長 石川 善朗

第19回 11月11日(水)
広報・国際課の新たな取り組み
総務部広報・国際課長 浅利 清一

HIROSAKI UNIVERSITY 弘前大学附属図書館
ラウンジトーク
毎週水曜日 12:05～12:35
場所 附属図書館2階
アクティブ・ラーニング・エリア
講師 弘前大学
教職員
大学院生・
学生 他
テーマ 弘前大学を知る / 青森を知る
研究・仕事の楽しさを知る
申込不要 どなたでも OK 一般市民も OK 出入り自由
スケジュール 平成27年度第3期(10～11月)
第15回 10月14日(水) 弘前大学COI拠点『寿命革命』で健康長寿社会の実現へ
COI研究推進機構 教授 村下 公一
第16回 10月21日(水) 医学研究科・附属病院と研究～泌尿器外科の魅力～
医学研究科泌尿器科学講座 教授 大山 力
第17回 10月28日(水) 農学生命科学部を知る
農学生命科学部長 佐々木 長市
第18回 11月 4日(水) 最近の学生就職の現状はどうなっているのか？
学生就職支援センター長 石川 善朗
第19回 11月11日(水) 広報・国際課の新たな取り組み
総務部広報・国際課長 浅利 清一
主催 弘前大学附属図書館
【問い合わせ先】 研究推進部学術情報課
TEL: 01172-39-3152 E-mail: jm3152@hirosaki-u.ac.jp

※各回詳細は弘前大学附属図書館ラウンジトークのホームページをご覧ください。

「講師がおすすめの本」「動画（学内限定）」も合わせてご覧ください。

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/lounge-talk/>

◇ 1 1月以降の予定

学内の教職員や学生に協力を依頼し、講演者を募る。

- ・学部長・研究科長にご出席いただき、館長がインタビューする形式で行う。
- ・研究室紹介や研究内容の紹介（教員や大学院生、学生）
- ・事務職員による仕事紹介
- ・大学内でのプロジェクトにまつわる話題
- ・趣味やサークル活動の紹介

弘前大学大学院保健学研究科

「平成27年度原子力災害影響調査等事業」講演会のお知らせ

本研究科では平成26年度から「原子力災害事故後の中長期的にわたる放射線ヘルスプロモーションの確立に向けて～なみえまちからはじめよう。～」に取り組んでいます。そのひとつとして、子ども・親への放射線健康管理があり、子どもの放射線教育に関わる教職員が抱える課題及び解決のための方略を検討し、今後の放射線教育に活用することを目指しています。

元教諭でもあり、現在京都大学大学院エネルギー科学研究科博士後期課程1年の秋津 裕氏は、幼児、小学生から教職員、一般成人ならびに福島原発事故で被災し、県内外に避難している住民を対象に放射線の授業、講演を精力的に行っています。

また、幼稚園と小学校の教員免許状を有しており、幼稚園主任教諭としての勤務経験があり、放射線学習に関して豊富な教材を作成・所有しています。

この度、対象者に応じた放射線教育の内容及び方法、教材開発等の情報を得て、放射線教育に関する理解を深める目的で講演会を開催します。

平成27年度原子力災害影響調査等事業

楽しく、分かりやすい 放射線学習

～子どもたちの放射線授業を体験してみましょう～

日時：平成27年10月16日（金）
13：00～14：30

会場：弘前大学大学院保健学研究科 共用講義室
(3階 第33講義室)

講師：京都大学大学院エネルギー科学研究科 秋津 裕 氏

＜講師紹介＞
幼稚園・小学校の教員免許状を有しており、幼稚園主任教諭としての勤務経験があり、また、京都大学大学院エネルギー科学研究科博士後期課程1年の秋津 裕氏です。福島原発事故で被災し、県内外に避難している住民を対象に放射線の授業、講演を精力的に行っています。

また、元教諭として、幼稚園と小学校の教員免許状を有しており、幼稚園主任教諭としての勤務経験があり、放射線学習に関して豊富な教材を作成・所有しています。

対象：放射線学習に興味関心のある方

参加料：無 料

【申込み】
08627910月14日（水）17：00
の申し込み
保健学研究科総務グループ 課長
E-mail: rps.kuh@hokuriku.ac.jp

【お問い合わせ先】
保健学研究科総務グループ 課長
TEL: 0172-99-0404 (内線404)
E-mail: rps.kuh@hokuriku.ac.jp

1. 開催日時 平成27年10月16日（金） 13：00～14：30
2. 開催場所 弘前大学大学院保健学研究科 共用講義室（3階第33講義室）
3. 講演 「楽しく、分かりやすい放射線学習
～子どもたちの放射線授業を体験してみましょう～」
講師：京都大学大学院エネルギー科学研究科 秋津 裕 氏
4. 対象 放射線学習に興味関心のある方
5. 定員 制限なし
6. 申込み 事前申込み
平成27年10月14日（水）17時までに、下記「お問い合わせ先」
メールアドレスへお申し込みください。 ※資料準備のため
7. 参加料 無 料
8. 担当者 弘前大学大学院保健学研究科 西沢義子、野戸結花、小倉能理子

◎お問い合わせ先

弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ 宮本

Tel : 0172-39-5454 FAX : 0172-39-5912

E-mail : myukako@hirosaki-u.ac.jp

平成27年度弘前大学総合文化祭「知の創造」

農学生命科学部公開講座

「移動—細胞内での分子の移動、生態系での動物の移動」開催のお知らせ

1. 日時：平成27年10月18日（日）13:30～15:30
2. 場所：弘前大学農学生命科学部3階 302講義室
3. 対象：一般，教職員，学生の方等どなたでも
※参加無料，事前申込み不要
4. 受付：当日（302講義室前で行います。）
5. テーマ：「移動—細胞内での分子の移動，生態系での動物の移動」

演題 「生物化学の基礎研究の面白さ」

講師 農学生命科学部 教授 大町 鉄雄

内容 工場で生産された多くの製品は，それらに付けられたバーコードや荷札により仕分けられ，トラックなどで各地の消費地（販売店）に輸送されます。

細胞の中には，細胞質の他，核，ミトコンドリア，ペルオキシソームなど多くの細胞小器官が存在します。それぞれの細胞小器官は多くのタンパク質で構成され，正常に機能することで，細胞（生命）が維持されています。それでは，細胞質で合成されたタンパク質（酵素）はどのようにしてそれぞれの細胞小器官に運ばれるのでしょうか？冒頭に示した工場で生産された製品の輸送と似ているのです。これは生物化学の基礎研究から分かったことです。

演題 「青森だからよく見える鳥の渡りと魚の回遊そして日々の生活」

講師 農学生命科学部 准教授 東 信行

内容 青森県は本州という島の北の端にあり，いろいろな生き物にとって特別な場所です。淡水魚では北限のものや南限（付近）のものが多数存在し，海産魚では日本海の暖流系や太平洋の寒流系の魚たちと，複数の環境の接点になっていることがわかります。また，渡り鳥にとっても重要な場所で，春に繁殖のために渡ってくるものに限らず，ここを通過するものは，ほとんどが青森の二つの半島を通ります。動物たちの視点から，青森の魅力とこれからのことを考えてみましょう。

平成27年度 弘前大学農学生命科学部公開講座

テーマ：移動

細胞内での分子の移動、生態系での動物の移動

開催日時：平成27年10月18日(日)13:30～15:30

場所：農学生命科学部3階 302講義室

入場無料！ 事前申込み不要！ お気軽に参加下さい！

生物化学の基礎研究の面白さ

講師：大町 鉄雄 教授

細胞質で合成されたタンパク質（酵素）は，どのようにしてそれぞれの細胞小器官に運ばれるのでしょうか？ 工場で生産された製品の輸送と似ているのです。

青森だからよく見える鳥の渡りと魚の回遊そして日々の生活

講師：東 信行 准教授

青森県は本州という島の北の端にあり，いろいろな生き物にとって特別な場所です。動物たちの視点から，青森の魅力とこれからのことを考えてみましょう。

※「あおもり県民カレッジ」の単位認定講座です。

※弘前大学総合文化祭「知の創造」企画

問合せ先： 弘前大学 農学生命科学部 地域連携推進室（事務・研究協力担当 藤江）
電話 0172-39-3756 7951.0172-39-3757 F-A jm3756@hirosaki-u.ac.jp

問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部地域連携推進室（事務・研究協力担当 藤江）
TEL：0172-39-3756
E-mail：jm3756@hirosaki-u.ac.jp

Yun-Wei Chiang 先生（国立精華大学(台湾)）による
学術講演会のお知らせ

講演： 「スピンラベルESRで見る
本質的無秩序タンパク質の制御的BAX-媒介型アポトーシス」
講師 Yun-Wei Chiang 先生（国立精華大学・台湾）

日時： 平成27年11月5日（木）16:00～17:00

場所： 保健学科 総合研究棟2階 15教室

要旨： 特定のタンパク質—タンパク質の相互作用は、細胞生命に豊富である。タンパク質が高度な秩序構造をとるパラダイムについて、本質的無秩序なタンパク質(IDP)であるからである。本講演では、IDPの誘導適合反応がいかに関細胞死につながるBAXのオリゴマー化を引き起こすのか、新たな洞察をする。
この講演会は、1, 2, 3, 4年生, 院生, 教職員の方々を歓迎します。

問い合わせ先：
保健学研究科 中川（内線 5921）

第4回 高度実践看護教育部門セミナー
「放射線診療における看護に必要な最新の知見」開催のお知らせ

放射線を用いる検査及び治療はますます高度化・専門分化し、放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。「放射線看護高度看護実践コース」では、放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし、画像診断や核医学診療、IVR診療、さらには被ばく医療に関して高度な看護実践ができる人材の育成を目指しており、現在、専門看護師教育課程の分野特定申請を行っています。

今回、放射線看護に携わる看護職の学習ニーズが高い核医学診療とIVR診療に関する最新の知見を紹介し、これら放射線診療に関する看護師の役割について理解を深めることを目的としてセミナーを開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時： 平成27年11月7日（土）
13:00～16:20
(質疑応答を含む)

2. 場所： 東京工業大学キャンパス
イノベーションセンター（東京都港区芝浦3-3-6）

3. テーマ： 「放射線診療における看護に必要な最新の知見」

4. 対象： 放射線看護に興味・関心のある医療職者（80名）
※申込先着順で定員に達し次第、お申し込み終了とさせていただきます。

5. プログラム：
13:00～13:10 開会の挨拶

放射線診療における
看護に必要な
最新の知見

平成27年11月7日(土)
13:00～16:20
CIC東京 東京工業大学
東京都港区芝浦3-3-6
川崎千歳 東京電気館 田原野下事務所

【対象】
放射線看護や放射線検査・調剤・関心のある医療職者（約80名）

【プログラム】
①開会挨拶（15分）
「放射線看護実践コース」の概要と意義について、毎日「放射線看護」
中川 尚 先生（国立病院 放射線科）
「放射線看護実践コース」の意義について
村上 登博先生（東京工業大学放射線医学総合センター 放射線科）
②放射線看護実践コースの紹介（15分）
野村 結晶 先生（東京工業大学放射線医学総合センター 放射線科）

【お申し込み方法】
オンラインフォームにてお申し込みください。（参加費無料）
<http://www.tit.ac.jp/seminar/11.html>
お申し込み締切日：10月19日（月）

※このセミナーは認定看護課程（全分野）の自己研鑽実績加算対象です。

【お問い合わせ先】
放射線看護実践コース研究科 看護学グループ 野村・結晶
TEL: 0172-39-5510 E-mail: kuwaf@hiroaki-u.ac.jp

- 13:10～14:20 教育講演「IVR診療～ボクと鳴海病院と、毎日、INE看護師～」
鳴海病院 院長 淀野 啓 先生
- 14:30～15:40 教育講演「最新の核医学検査と放射線看護」
横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長
井上 登美夫 先生
- 15:50～16:10 放射線看護高度看護実践コースの教育内容について
弘前大学大学院保健学研究科 野戸 結花 先生
- 16:10～16:20 閉会の挨拶

6. 参加費： 無料

7. お申し込み方法： インターネットによる事前お申し込みとなります。
下記URLからお申し込み手続きを行ってください。

高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
<http://rem-hirosaki.jp/seminar.html>

8. お申し込み締切： 10月19日（月）

9. 共 催： 弘前大学大学院保健学研究科，日本放射線看護学会

10. お問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ 桑田，岩間
電話：0172-39-5518
E-mail：kuwata@hirosaki-u.ac.jp

「一般相対性理論誕生100年記念市民講演会」のお知らせ（再掲）

「一般相対性理論誕生100年記念市民講演会」を下記の要領で開催します。

日 時：2015年10月3日（土）15:00～16:30

場 所：理工学部1号館2番講義室

対 象：どなたでも。目安としては高校生程度以上。（入場無料，事前申し込み不要です）

講師および講演題目：

京都大学・教授 中村卓史 「中性子星とブラックホール」

東京大学・准教授 安東正樹 「アインシュタインの宿題 - 重力波」

問い合わせ先：

理工学研究科 浅田秀樹

TEL：0172-39-3554

Email：asada@hirosaki-u.ac.jp

「第15回青森糖質研究会」開催のお知らせ（再掲）

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど、諸活動を続けております。

平成27年度は「糖と美と健康と、地域資源」をテーマに4講演が行われます。

日 時：平成27年10月9日（金）
14：00～17：15
（受付開始13：00～）

会 場：弘前大学 文京キャンパス
大学会館 3階 大集会室
（〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地）

対 象：一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。

講 演：14：10～17：05

1. 「地域資源を活用した糖質研究の事例
— ペクチン、ペクチンオリゴ糖及びりんごセラミド —」
市田 淳治（青森県産業技術センター 工業総合研究所）
2. 「カラダの中から美を求めて～豆ジャムへの取組み～」
三浦 和英（株式会社 ラビブレ）
3. 「地域資源を生かした商品開発～弘前大学との産学協同～」
山本 和司（サンスター株式会社 新規素材活用事業開発プロジェクト）
4. 新技術紹介 「白神山地から分離した酵母の利用」
殿内 暁夫（弘前大学農学生命科学部）

参加費：無料（交流会は 一般：3,000円、学生：1,000円）

主 催：青森糖質研究会（会長 加藤 陽治）

共 催：ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

後 援：（公財）水谷糖質科学振興財団

申込方法：下記問い合わせ先へお申し込みください。＊当日参加も可

URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（17：30～19：30）、弘前大学生協レストラン・スクーラム（大学会館2階）にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。

問い合わせ先：
青森糖質研究会事務局

「糖と美と健康と、地域資源」
第十五回 青森糖質研究会
平成27年10月9日 金
14:00～17:15 (受付開始 13:00～)
会場：弘前大学 文京キャンパス大学会館 3階 大集会室
参加費：無 料
対 象：一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております！

講演 1 14:10～14:50 「地域資源を活用した糖質研究の事例 — ペクチン、ペクチンオリゴ糖 及びりんごセラミド —」 市田 淳治 氏 (青森県産業技術センター 工業総合研究所)	講演 2 15:05～15:45 「カラダの中から美を求めて ～豆ジャムへの取組み～」 三浦 和英 氏 (株式会社 ラビブレ)
講演 3 15:45～16:25 「地域資源を生かした商品開発 ～弘前大学との産学協同～」 山本 和司 氏 (サンスター株式会社 新規素材活用事業開発プロジェクト)	講演 4 16:25～17:05 「白神山地から分離した 酵母の利用」 殿内 暁夫 氏 (弘前大学 農学生命科学部)

交流会のご案内
時 間 17:30～19:30
会 場 大学会館2階 弘前大学生協
レストラン・スクーラム 当日参加も
会 費 一般：3,000円 学生：1,000円 受付しております

主催：青森糖質研究会 会長 加藤 陽治
共催：ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部 後援：（公財）水谷糖質科学振興財団
お問い合わせ先 市田 淳治 氏 市田 淳治
三浦 和英 氏 三浦 和英
山本 和司 氏 山本 和司
殿内 暁夫 氏 殿内 暁夫
弘前大学 農学生命科学部 193-8512 弘前市文京町1番地
Tel: 0172-39-5542 Fax: 0172-39-5016 E-mail: kaki@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院医学研究科
附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電話：0172-39-5542
E-mail: kaki@hirosaki-u.ac.jp

「第17回 青森継続看護研究会」開催のお知らせ(再掲)

弘前大学大学院保健学研究科 地域保健医療教育研究センター 多職種連携推進部門では、「地域包括ケアを考えよう!!」をメインテーマとした講演及びシンポジウムを下記のとおり開催いたします。どなたでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成27年10月12日(月)
13:00~16:30
2. 会 場： 弘前大学医学部
コミュニケーションセンター
(弘前市本町40-1)
3. 参加費： 無料
4. プログラム：

○教育講演「地域包括ケアシステムにおける地域づくりについて
一まちづくりのために専門職ができること」

講師：澤登 久雄 氏 (社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院
大田区地域包括支援センター入新井センター センター長)
座長：梅村 芳文 氏 (梅村医院 院長)

○シンポジウム「地域包括ケアにおける医療の役割を考える」

コーディネーター：木立 るり子 氏 (弘前大学大学院保健学研究科 教授)

シンポジスト：

葛西 孝幸 氏 (ときわ会病院医療連携室 副室長
津軽地域ケアネットワーク 会長)
川口 智嘉子 氏 (八戸赤十字病院医療社会事業課地域医療連携課
課長 職務代行 (地域医療連携課看護師長))
木村 かおり 氏 (公立野辺地病院 皮膚・排泄ケア認定看護師)
木村 千里 氏 (弘前愛成会病院 精神保健福祉士)

5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科 地域保健医療教育研究センター
多職種連携医療推進部門

※この事業は、社団法人青森医学振興会の助成を受けて開催します。

【問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科
木立 るり子
TEL：0172-39-5922
E-mail: kidachi@hirosaki-u.ac.jp

第17回青森継続看護研究会
地域包括ケアを考えよう!!
2015年10月12日(月・祝)
13時~16時半
弘前大学医学部
コミュニケーションセンター
教育講演 講師：澤登 久雄 氏
社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院
大田区地域包括支援センター入新井センター センター長
「地域包括ケアシステムにおける地域づくりについて
一まちづくりのために専門職ができること」
座長：梅村 芳文 氏 (梅村医院 院長)
シンポジウム
「地域包括ケアにおける医療の役割を考える」
コーディネーター：木立 るり子 氏 (弘前大学大学院保健学研究科 教授)
シンポジスト：
葛西 孝幸 氏 (ときわ会病院医療連携室 副室長
津軽地域ケアネットワーク 会長)
川口 智嘉子 氏 (八戸赤十字病院医療社会事業課地域医療連携課
課長 職務代行 (地域医療連携課看護師長))
木村 かおり 氏 (公立野辺地病院 皮膚・排泄ケア認定看護師)
木村 千里 氏 (弘前愛成会病院 精神保健福祉士)
この集会は、保健学研究科地域保健医療教育研究センターの事業です
社) 青森医学振興会の助成を受けて開催いたします
青森継続看護研究会
連絡先TEL: 0172-39-5922 (FAX専用)
E-Mail: kidachi@hirosaki-u.ac.jp

第40回弘前大学経済学会大会のお知らせ(再掲)

弘前大学経済学会は、第40回大会を下記の通り開催することになりました。今回は経済産業省東北経済産業局地域経済部産業支援課長・遠藤憲子氏をお招きし、青森県や東北地方の産業・経済を支える人材育成をテーマにご講演いただくほか、本学会会員による日頃の研究成果の発表を予定しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時：2015年10月16日(金) 14:00～17:40

場 所：弘前大学人文学部多目的ホール（人文学部校舎4F）

対 象：学内外問わずどなたでも参加可能
※事前申込みは不要。入場無料です。

プログラム：

1. 開会挨拶 14:00～14:05
森 樹男会長(弘前大学人文学部教授)
2. 講演 14:10～15:20
遠藤憲子氏(経済産業省東北経済産業局地域経済部産業支援課長)
演題「地域経済を支える産業人材の育成」
3. 研究発表(1)
発表者 飯田清子氏(弘前大学大学院地域社会研究科)15:30～16:30
発表題目「人的資本蓄積と経済成長」
討論者 大橋忠宏氏(弘前大学人文学部教授)
4. 研究発表(2)
発表者 鈴木和雄氏(弘前大学人文学部教授)16:40～17:40
発表題目「接客サービス労働過程の基本構造」
討論者 細矢浩志氏(弘前大学人文学部教授)

※学会終了後、本学文京キャンパス周辺のお店を会場として、懇親会を行います。
参加ご希望の方は、学会開催の2～3日前までに事務局・細矢までご連絡下さい。
会費4,000円程度を予定しています。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 細矢浩志
TEL(FAX)：0172-39-3281
E-mail: hosoya@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学理学部・理工学部創設50周年記念事業について(再掲)

理工学部の前身である旧理学部は本年度をもって創設50周年を迎えました。また、理工学部は創設18周年を迎えるところです。これを記念して下記の記念式典、記念講演会等を開催します。

1. 記念式典
期日：平成27年10月17日(土)
時間：13時30分から

会場：理工学部第10講義室
式次第
開式
研究科長式辞
学長挨拶
来賓祝辞
理学部・理工学部のあゆみ
同窓生のことば
在学生のことば
閉式

2. 記念講演会

期日：平成27年10月17日(土)

時間：15時から17時

会場：理工学部第10講義室

講演：

1. アインシュタインの一般相対論誕生100周年
弘前大学大学院理工学研究科 浅田 秀樹 教授
2. 弘前大学理工学部誕生と私の研究活動
弘前大学大学院理工学研究科 稲村 隆夫 教授

3. 祝賀会

期日：平成27年10月17日(土)

時間：17時30分から

会場：弘前大学学生会館内「スクーラム」

会費：5,000円

4. キャンパスツアー

期日：平成27年10月18日(日)

時間：10時～10時30分

見学場所：資料館等

参加希望の方は、予め下記にご連絡下さい。

<連絡先>

〒036-8561 弘前市文京町 3

弘前大学大学院理工学研究科

総務グループ総務担当

Tel 0172-39-3503

E-mail jm3505@hirosaki-u.ac.jp

平成27年度弘前大学総合文化祭「知の創造」
市民公開講座「がんは早期発見で予防できる」開催のお知らせ(再掲)

青森県は、全国一の短命県であるとともに、がん死亡率の高い県である。講演では、「がんは早期発見で予防できる」というテーマで、がんとはどういう病気か、早期発見に貢献する細胞診断、そして、がん死亡率減少に貢献する子宮頸癌検診について、本学の教育研究活動を広く一般市民に公表します。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日 時： 平成27年10月18日(日)
13:30～15:35

場 所： 弘前大学医学部コミュニケーションセンター
(弘前市在府町5)

参加費： 無 料 (事前申し込み不要)

内 容：

●テーマ 「がんは早期発見で予防できる」

講演 1. 「がんとはどんな病気か」
講師：弘前大学大学院保健学研究科
渡邊 純 先生

講演 2. 「がんの早期発見に貢献する細胞診断」
講師：弘前大学大学院保健学研究科
吉岡治彦 先生

講演 3. 「子宮頸癌検診のすすめ」
講師：弘前大学大学院保健学研究科
堀江香代 先生



主 催： 弘前大学総合文化祭「知の創造」弘前大学大学院保健学研究科事業

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL：0172-39-5905 FAX：0172-39-5912
E-mail：jm5905@hirosaki-u.ac.jp

2015年 弘前大学白神研究会 秋の観察会
紅葉の弘前大学白神自然環境研究所附属 白神自然観察園(再掲)

日 時： 10月24日(土) 午前10時00分～午後3時(雨天決行)

コ ー ス： 西目屋村川原平

集 合： ビーチ西目屋駐車場
(車のない方はお申し出下さい。9時弘前
大学正門集合です)

参加人数： 20名

対 象： 小学4年生以上(小中学生は保護者同伴)

服装・整備： 服装はハイキング用で十分です。手袋，帽子があるといいです。雨具は必ず
お持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は，ト
レッキングシューズ，ハイキングシューズあるいは長靴がいいでしょう。お
弁当，飲み物も適時ご持参下さい。

参加費用： 1人1,000円(テキスト・傷害保険代金)

主 催： 弘前大学白神研究会

申 込： 弘前大学白神自然観察園（山岸，電話・Fax 39-3706）

締 切 日： 最終申込日は10月21日（水）ですが，定員になり次第締め切ります。

問い合わせ： 白神研究会・事務局本多 Tel/Fax 0172-39-3812

第17回家庭でできる看護ケア教室開催のお知らせ（再掲）

弘前大学医学部附属病院看護部主催で，市民の方を対象に，第17回家庭でできる看護ケア教室を開催します。

毎年テーマを替えて開催しており，今回のテーマは，「備えあれば患いなし～手術を乗り越える体の準備～」です。一緒に，日頃からできるからだの準備について学んでみませんか？

日 時： 平成27年10月28日（水）
13：30～16：00

場 所： 弘前大学医学部附属病院看護部研修室

対 象： 市民の方

参 加 費： 無料

申込期間： 平成27年10月1日（木）
～10月16日（金）
平日 9：00～17：00

申 込 先： 弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター
TEL 0172-39-5337
担当：木村 淑子

家庭でできる 看護ケア教室 第17回

テーマ：備えあれば患いなし
～手術を乗り越える体の準備～

「備えあれば患いなし」入院や手術はいつ起こるかわかりません。手術後に早期回復するには術後からの健康づくりが大切です。日頃からできるからだの準備について学んでみませんか？

開催日 平成27年10月28日（水） 13:30～16:00

プログラム
13:30 「手術前オリエンテーションとトレーニング」
講師：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 菊岡千子
15:00 「はじめの一步 お口からのサインを見つめよう」
～お口の手入れは大切です～
講師：感染症認定看護師 尾崎浩美

○場所：弘前大学医学部附属病院内 看護部研修室
○参加人員：市民の方30名（先着順）
○参加費：無料（院内駐車場は有料となります）
○申込期間：平成27年10月1日（木）～10月16日（金）
平日 9:00～17:00
○申込先：弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター
TEL0172-39-5337 担当：木村 淑子

主催：弘前大学医学部附属病院 看護部
この事業は、社会法人 青森県学務委員会の助成金で実施されています。

事務局庁舎改修に伴う学長直言箱の撤去について

事務局庁舎改修のため，庁舎1階に設置しておりました学長直言箱を撤去させていただきます。撤去期間中，ご迷惑をおかけいたしますが，事務局庁舎以外に設置しております学長直言箱をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

撤去期間：平成27年8月17日（月）～平成28年4月28日（木）

問い合わせ先：弘前大学総務部総務課（秘書室） 内線3004

学長オフィスアワー日程変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため，学長オフィスアワーを毎月第1金日及び第3木曜日に実施しておりますが，下記のとおり日程変更等がございますのでお知らせいたします。

日程変更等 10月15日(木) → 10月16日(金)
【中止】 11月 6日(金)

問い合わせ先：

弘前大学総務部総務課(秘書室)

TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第36号」では、授業や課外活動に真剣に取り組む学生、グループの活動の紹介する「今、学生は！」のコーナーにおいて、本学のサークル「弘大囃子組」が紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第37号」

<http://www.janu.jp/report/koho/37gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498, 内線:3029